

## 社会福祉教室 車いすなどを体験

**社** 会福祉について理解を深めてもらおうと、3月17日(土)、社会福祉協議会(伊藤 博会長)が主催して、健康福祉センターさわやかで福祉教室が行われました。

参加した10人の小学生らは、午前中猪股社会福祉協議会事務局次長から講話や車いすの使い方を学び、目隠ししながらの歩行で視覚障害を疑似体験しました。午後からは、実践編として、目隠しのままバスに乗車したり、階段を上り下りし、目が見えないことの大変さを実感していました。



目隠しをしてバスを降りる小学生

## 創作メニューを伝授 とうや湖和牛を柱に

**観** 光産業を支える人材育成と雇用創出をめざす、洞爺湖三味一体雇用の道づくり協議会主催の、中核的調理師育成事業・創作メニュー講習会が、3月13日、18日、27日と3回コースで萬世閣を会場に開かれました。

講師には、日本料理山兆懷石山崎の山崎総料理長が務め、ホタテやとうや湖和牛など地場産品を使った料理を、各ホテルの調理師の皆さんに指導しました。最終回では、同会に参加した皆さんが試作品を披露し、試食後この夏のキャンペーンメニューに、とうや湖和牛を使用したみそ味の陶板焼きを決定しました。



熱心にメニューを取るホテルの調理師の皆さん

## 読み聞かせや人形劇で児童ら楽しむ 恒例の図書まつり

**3** 月29日(木)、教育委員会が主催する図書まつりが、洞爺総合センターの和室で約80人の子どもらが参加して、開かれました。参加した園児や小学校低学年の児童らは、絵本の読み聞かせや楽しいパーフォーマンスに笑顔があふれていました。

当日披露されたのは、「ゴリラ日記」「おなら」など絵本の読み聞かせやエブロンシアターたんぼの会による人形劇「3匹のこぶた」。また飛行船の二人組による合唱や、遊びなども児童らに大人気で、いっしょに大



絵本の読み聞かせを楽しむ子供達

な声で歌っていました。

## 平成18年度とうや寿大学最終講義 懐メロで当時を振り返る

**平** 成18年度とうや寿大学教育委員会主催の最後の講義が、3月18日(日)洞爺ふれ愛センターで洞爺地区のお年寄り約100人が参加して開かれました。

講義は、生涯インストラクター・井形眞一さん(元大原小学校校長)の講演会で、テーマは「私の人生と思いの出のメロディ」。

音楽を聞き、その当時をふり帰ろつと、参加者に合わせた「影を慕いて」九段の母など12曲を選曲。

参加者は、若かりし頃の歌を聞きながら、当時を各々思い出



寿大学平成18年度最後の講演会

し、懐かしんでいました。

まちのわだい